

令和6年度 情報公開

学校法人 北海道鹿光^{ロクコウ}学園
青山建築デザイン・医療事務専門学校

目 次

- 【1】 学校の概要、目標及び計画
 - 1 校長名
 - 2 所在地
 - 3 連絡先
 - 4 沿革
 - 5 教育方針
 - 6 教育目標
 - 7 校舎

- 【2】 各学科等の教育
 - 1 入学定員・修業年限
 - 2 学生数
 - 3 カリキュラムの編成と運用

- 【3】 教職員
 - 1 教職員数
 - 2 専任教員一覧及び主たる担当教科

- 【4】 キャリア教育・実践的職業教育
 - 1 キャリア教育
 - 2 実践的職業教育
 - 3 就職支援

- 【5】 様々な教育活動・教育環境
 - 1 学校行事
 - 2 課外活動
 - 3 教育環境

- 【6】 学生の生活支援
 - 1 経済的な支援
 - 2 奨学金制度・授業料免除の状況

- 【7】 学生納付金

【1】学校の概要、目標及び計画

- 1 校長名 林 晴一
- 2 所在地 札幌市中央区北5条西14丁目
- 3 連絡先 TEL 011-281-4155 FAX 011-281-4215
- 4 沿革

昭和61年	4月	学校法人鹿光学園 青山製図専門学校（東京・渋谷）の姉妹校として創立 設置学科 店舗設計デザイン科、機械設計科、トレース本科、 トレース専科・実習科
昭和62年	12月	学校法人北海道鹿光学園 青山製図専門学校札幌校として、専修学校専門 課程の専門学校として、北海道知事より認可される
昭和63年	2月	1号館竣工（地下1階、地上8階）
平成元年	4月	建築設計・設備科新設
平成2年	3月	3号館竣工（地上3階）
平成2年	4月	機械設計製図科を機械設計CAD・CAM科に変更
平成4年	4月	校名を青山工学専門学校札幌校へ変更 別科として「建築研究科」を設置
平成6年	4月	店舗設計デザイン科を建築設計デザイン科に変更
平成11年	9月	福祉住環境デザイン科新設
平成12年	4月	校名を青山工学専門学校へ変更
平成12年	11月	機械設計CAD科を情報システムCAD科に変更 福祉住環境デザイン科を建築設計デザイン科の「設計コース」「インテリア コース」「福祉住環境コース」とする
平成13年	12月	情報システムCAD科を廃科
平成15年	4月	商業実務分野の「医療秘書科」「病院管理科」を設置
平成15年	3月	2号館竣工（地上4階建）
平成15年	4月	校名を青山工学・医療専門学校へ変更
平成16年	4月	医療秘書科に医療秘書、医療クラークコース、病院管理科に医療管理、診 療情報管理コースを設置。建築設計デザイン科の設計コースを商業施設コ ースに変更
平成16年	8月	社団法人 日本病院会より診療情報管理士養成校（病院管理科 診療情報管 理コース）として認定される
平成18年	4月	病院管理科診療情報管理コースを卒業し、診療情報管士の資格取得を目指 す「診療情報管理士専攻科」（1年課程）を設置
平成23年	4月	校名を青山建築デザイン・医療事務専門学校へ変更
平成25年	4月	建築設計デザイン科のコースを「インテリアコース」「デザインコース」の 2コースとする。医療秘書科と病院管理科を併せ医療事務学科とし、「医療 秘書コース」「医療クラークコース」「医療事務コース」「診療情報管理コ ース」の4コースとする。
平成26年	3月	建築設計CAD科・医療秘書科・病院管理科及び建築設計デザイン科の「商 業施設コース」「福祉住環境コース」を廃止。
平成27年	4月	医療事務学科のコースを「医療事務コース」「診療情報管理コース」の2コ ースとする。
平成28年	2月	医療事務学科が「職業実践専門課程」として文部科学省より認定される。
平成28年	3月	医療事務学科「医療秘書コース」「医療クラークコース」の2コースを廃止。
令和2年	4月	医療事務学科のコースを「医療秘書・クラーク・薬局事務コース」「医療事務・診 療情報管理士コース」に変更する。

令和 2年 4月 建築学科、建築設計デザイン科が「職業実践専門課程」として文部科学省より認定される。

令和 5年10月 建築研究科に1年課程の1級建築士コースを設置

5 教育方針

本校は、学校教育法第124条及び125条に基づく専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・監理・デザイン・施工、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた健全な人間の育成を目的とする。

6 教育目標

(1) 工業分野

教育目標

- ・技術者であるとともに、常識ある社会人を育成する。
- ・産業界において即戦力となる技術者を育成する。
- ・国際性豊かな幅広い知識をもった技術者を育成する。

経営方針（教育活動）

産業界の動向を注視し、技術の進歩に応じて指導内容を見直し、基礎基本の精選を行い、カリキュラムの改善を図る。少子化の進展によって多様化した学生の一人ひとりの状況に心を配り即対応できるよう常に教員は学生に目を向け、心からひとり一人を大切にする。また常に教員の質の向上を図り、指導方法を工夫、改善し、学生から慕われる教員であり、即戦力として企業のニーズに即応できる自立心とマナー教育の徹底、社会から信頼される質の高い技術者を育成する。CAD、3D、CG等の技術については専門学科ごとに指導の充実を図る。

CAD利用技術者試験、CADトレース技能審査試験、建築CAD試験、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーターの資格取得を目指す。建築研究科はその実績を踏まえ、二級建築士の資格取得と専門知識、技術の取得を図る。

(2) 商業実務分野（医療事務系）

教育目標

- ・幅広く豊かな教養を身につけ、心豊かな人間性を持った社会人を育成する。
- ・医療に携わる者としての目的意識、他人の心の痛みがわかる人、モラルやマナーなど常識豊かに健康な社会人を育成する。教員自身、接遇教育、コミュニケーション能力、ビジネスマナー等の指導能力をしっかりと身につけ自らの人間性を高める。
- ・情報収集を常に行い、医療システム、管理システムの高度な専門知識を兼ね備えたスペシャリストを育成する。

経営方針（教育活動）

高齢化社会にともない医療、施設、医療スタッフの厳しく選別される時代に入った、今迄以上に知識、技術そして気遣い、心くばり、優しさ、いたわりの心を持った、信頼される人格を兼ね備えた質の高い医療従事者が求められている。本校が今迄に培ってきたコンピュータの専門的な技術やノウハウを最大限に生かし、患者と医療スタッフの架け橋となる医療秘書、医療事務のエキスパートを育成、又病院の経営管理から医療データの情報管理のスペシャリストを育成する。

医療秘書技能検定、診療報酬請求事務能力検定、医事コンピュータ技能検定、医師事務作業補助認定試験(ドクターズクラーク)、診療情報管理士の資格取得を目指す。

7 校舎

校舎名	階数	延べ面積
1号館	地下1階 地上8階	2,043.15㎡
2号館	地上4階	1,108.00㎡
3号館	地上3階	560.43㎡

【2】各学科等の教育

1 入学定員・修業年限（令和5年度）

専 門 課 程	学 科 名	定 員	修業年限
	建 築 学 科	60名	2年
	建築設計デザイン科 インテリアコース デザインコース	30名	
	医療事務学科 医療事務コース 診療情報管理コース	20名	2年
	診療情報管理士専攻科	15名	1年

2 学生数（令和6年度）

	学科名	修業 年限	在籍者数		
			1年	2年	計
工 業 分 野	建築学科	2年	43	42	85
	建築設計デザイン科 インテリアコース デザインコース		29 (14) (15)	30 (13) (17)	59
商 業 実 務 分 野	医療事務学科 医療秘書・クラーク・薬局事務コース 医療事務・診療情報管理士コース		1年	8	6 (0) (6)
	診療情報管理士専攻科	4			4
	小 計		84	78	162
別 科	建築研究科 (2級建築士コース)	6カ月	37		37
	(1級建築士コース)	1年		2	2
	合 計		121	80	201

3 カリキュラムの編成と運用

I. 建築学科 職業実践専門課程

学科の目的・特徴		建築技術者として設計・施工・積算など様々な職種に対応できる知識を身につけ、1・2級建築士、1・2級建築施工管理技術検定取得を目標に、建築設計・製図・CAD・BIMの専門知識を修得し実践的な授業で、即戦力となる人材を育成します		
就業年数	定員数	専門士	高度専門士	
2年(昼)	60名	平成7年 文部科学省告示7号		—————
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目
2960時間		1423時間	962時間	575時間
実施科目(抜粋)		1年	工業数学、建築史、建築一般構造、建築計画、 建築法規Ⅰ、構造力学Ⅰ、建築施工Ⅰ、建築設備Ⅰ、 電気設備、建築製図演習Ⅰ、建築計画演習 建築CAD演習Ⅰ、建築模型・パース演習、 色彩造形演習、就職研修	
		2年	都市計画概論、建築材料、環境工学、建築法規Ⅱ、 構造力学Ⅱ、建築施工Ⅱ、建築構造設計、 建築積算、建築測量、建築設備Ⅱ、建築士講座計画、 建築士講座法規、建築士講座構造、建築士講座施工 建築士講座設計製図、施工管理講座、建築製図演習Ⅱ 建築設計演習、建築CAD演習Ⅱ、卒業設計演習、 建築BIM演習	
目標資格		1級建築士(卒業と同時に、実務経験4年で登録)、 2級建築士(卒業と同時に) 1級建築施工管理技士(実務経験5年)、 2級建築施工管理技士(実務経験2年)、 設備士(実務経験4年)、 マンションリフォームマネージャー(在学中)、 建築積算士(在学2年で建築積算士補取得可能) 2級建築施工管理技術検定学科(在学中)、 CAD利用技術者(在学中)、建築CAD検定(在学中)		

II. 建築設計デザイン科 職業実践専門課程

学科の目的・特徴		建築デザイナーとして、建築・インテリア・商業施設のデザインや施工の技術、知識を身に付け、1・2級建築士、インテリアコーディネーター、商業施設士の資格取得を目標に、建築デザイン・製図・CAD・BIMの専門知識を修得し実践的な授業で、即戦力となる人材を育成します	
就業年数	定員数	専門士	高度専門士
2年(昼)	30名	平成7年 文部科学省告示7号	—
コース名		① インテリアコース ② デザインコース	

① インテリアコース

コースの特徴	インテリアコーディネーター、1・2級建築士の資格取得を目標に、インテリアコーディネーション、プレゼンテーションテクニック、コンピュータプレゼンテーションなどの専門知識を修得します		
卒業に必要な総授業時間数	講義科目	演習科目	実習科目
2960時間	1406時間	1070時間	484時間
実施科目(抜粋) (インテリアコース)	1年	工業数学、建築史、建築一般構造、建築計画、建築法規Ⅰ、構造力学Ⅰ、建築施工Ⅰ、インテリアコーディネーションⅠ、建築製図演習Ⅰ、2D・CAD演習、建築計画演習、プレゼンテーションテクニック、造形デザインⅠ、就職研修	
	2年	建築材料、環境工学、建築法規Ⅱ、構造力学Ⅱ、建築施工Ⅱ、建築構造設計、建築設備、建築士講座計画・構造、建築士講座法規・施工、建築士講座設計製図、建築積算A、建築測量、照明デザイン、インテリアコーディネーションⅡ、カラーコーディネーション、建築製図演習Ⅱ、コンピュータプレゼンテーション、インテリアデザイン設計、卒業設計演習、インテリアデザイン、建築BIM演習	
目標資格	1級建築士(卒業と同時に、実務経験4年)、 2級建築士(卒業と同時に) 1級建築施工管理技士(実務経験5年)、 2級建築施工管理技士(実務経験2年)、 インテリアコーディネーター(在学中)、 マンションリフォームマネージャー(在学中)、 建築積算士(在学2年で建築積算士補取得可能) 2級建築施工管理技術検定 学科(在学中)、 CAD利用技術者(在学中)、建築CAD検定(在学中)		

② デザインコース

コースの特徴	商業施設士、1・2級建築士の資格取得を目標に、住環境デザイン、商業施設計画、2DCAD演習などの専門知識を修得します		
卒業に必要な総授業時間数	講義科目	演習科目	実習科目
2960時間	1370時間	1106時間	484時間
実施科目（抜粋） （デザインコース）	1年	工業数学、建築史、建築一般構造、建築計画、建築法規Ⅰ、構造力学Ⅰ、建築施工Ⅰ、インテリアコーディネートⅠ、建築製図演習Ⅰ、2D・CAD演習、建築計画演習、プレゼンテーションテクニック、造形デザインⅠ、就職研修	
	2年	建築材料、環境工学、建築法規Ⅱ、構造力学Ⅱ、建築施工Ⅱ、建築構造設計、建築設備、建築士講座計画・構造、建築士講座法規・施工、建築士講座設計製図、建築積算A、建築測量、照明デザイン、住環境デザイン、カラーコーディネート、商業施設計画、建築製図演習Ⅱ、コンピュータプレゼンテーション、空間デザイン設計、卒業設計演習、造形デザインⅡ、建築BIM演習	
目標資格	1級建築士（実務経験4年）、2級建築士（卒業と同時） 1級建築施工管理技士（実務経験5年）、 2級建築施工管理技士（実務経験2年）、 インテリアコーディネーター（在学中）、 マンションリフォームマネージャー（在学中）、 建築積算士（在学2年で建築積算士補取得可能） 2級建築施工管理技術検定学科（在学中）、 CAD利用技術者（在学中）、建築CAD検定（在学中）		

Ⅲ. 医療事務学科 職業実践専門課程

学科の目的・特徴		医療機関における事務分野で活躍するために必要な知識や技術を学び、医療スタッフの一員となれる人材の育成をします。また、病院の経営管理から医療データの情報管理のスペシャリストを育成します。	
就業年数	定員数	専門士	高度専門士
2年(昼)	20名	平成27年 文部科学省告示13号	—
コース名		① 医療秘書・ｸﾞｰｸ・薬局事務コース ② 医療事務・診療情報管理士コース	

① 医療秘書・ｸﾞｰｸ・薬局事務コース

コースの特徴	医療事務職として必須の診療報酬請求事務をはじめ、介護・調剤・歯科等幅広い医療分野で活躍できる知識習得を目的とします。		
卒業に必要な総授業時間数	講義科目	演習科目	実習科目
2640時間	923時間	1597時間	120時間
実施科目(抜粋)	1年	一般教養Ⅰ、硬筆書写、 秘書概論、検査と薬品Ⅰ、医療保障、医学用語、 人体構造・機能論、医療概論、医学総論、 医療関連法規Ⅰ、診療報酬請求事務Ⅰ、 医事コンピュータ、ワープロ、表計算、PC基礎知識、 データベース、コミュニケーション技法Ⅰ	
	2年	一般教養Ⅱ、就職支援、 臨床心理学、ビジネスマナー、検査と薬品Ⅱ、医療関連法規Ⅱ、 基礎医学、調剤事務、 診療報酬請求事務Ⅱ、ドクターズｸﾞｰｸ、ケアｸﾞｰｸ、 プレゼンテーション、PCエキスパート、実習・就職支援、 病院実習、卒業研究、コミュニケーション技法Ⅱ	
目標資格	医事コンピュータ検定2級・3級、医療秘書検定2・3級、硬筆書写、 医療事務管理士試験、診療報酬請求事務能力認定試験、秘書技能検定試験、 電子カルテ検定、調剤事務、介護事務、メディカルｸﾞｰｸ、ドクターズ ｸﾞｰｸ、情報処理検定試験等、ビジネスマナー検定、ビジネス文書検定、 ホスピタルコンシェルジュ検定		

② 医療事務・診療情報管理士コース

<p>コースの特徴</p>	<p>診療情報管理士として必要な基礎知識の習得を目指します。また、病院経営を担う人材育成を目標とします。</p>		
<p>卒業に必要な総授業時間数</p>	<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>
<p>2640時間</p>	<p>1349時間</p>	<p>1171時間</p>	<p>120時間</p>
<p>実施科目（抜粋）</p>	<p>1年</p>	<p>一般教養Ⅰ、硬筆書写、秘書概論、医療関連法規Ⅰ、検査と薬品Ⅰ、医療保障、医学・医療用語Ⅰ、人体構造・機能論、医療概論、臨床医学総論、診療報酬請求事務Ⅰ、医事コンピュータ、PC基礎知識、ワープロ、表計算、データベース、コミュニケーション技法</p>	
	<p>2年</p>	<p>ビジネスマナー、医療関連法規Ⅱ、検査と薬品Ⅱ、医学・医療用語Ⅱ、臨床医学各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ、医療管理総論、医療管理各論Ⅰ・Ⅱ、診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ、国際統計分類Ⅰ、基礎医学概論、医療情報技師講座、医療統計Ⅰ、がん登録講座Ⅰ、診療報酬請求事務Ⅱ、ドクターズクラーク、プレゼンテーション、実習支援、病院実習</p>	
<p>目標資格</p>	<p>医事コンピュータ検定2級・3級、医療秘書検定2・3級、硬筆書写、医療事務管理士試験、診療報酬請求事務能力認定試験、秘書技能検定試験、電子カルテ検定、ドクターズクラーク、情報処理検定試験等、医療情報技師（基礎）、ホスピタルコンシェルジュ検定</p>		

IV. 診療情報管理士専攻科

学科の目的・特徴		医療事務学科 診療情報管理コースで学ぶ2年間の基礎知識習得後、在学中に医療情報技士・診療情報管理士の資格取得を目指します。		
就業年数	定員数	専門士	高度専門士	
1年(昼)	15名	—	—	
卒業に必要な総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目
1184時間		774時間	410時間	—
実施科目(抜粋)		1年	就職研修、医療統計Ⅱ、保健医療情報学、国際統計分類Ⅱ、医療管理各論Ⅲ、基礎医学Ⅲ、診療情報管理論Ⅲ、医療情報技師講座、診療情報管理士認定試験対策講座、がん登録講座Ⅱ、コーディング演習、卒業研究・就職支援講座	
目標資格		医療情報技師、診療情報管理士資格、診療報酬請求事務能力認定試験、がん登録初級者認定試験		

【3】教職員

1 教職員数

教職員数	校長	教員	講師	事務	計
専任		10		5	15
非常勤	1		25		26
計	1	10	25	5	41

2 専任教員一覧および主たる担当教科

専 門 課 程	氏名	担当教科
	矢野 倫大	建築法規
	武川 真理子	診療報酬請求事務
	山本 崇人	構造力学
	銚館 亮治	建築施工
	畠山 真直	建築積算
	大脇 久美	インテリアコーディネーション
	佐藤 嘉彦	建築計画
	川淵 彩子	調剤事務
	家常 吏恵	医療管理各論
柴田 達也	医療保障	

【4】キャリア教育・実践的職業教育

1 キャリア教育

医療事務学科では、ビジネスマナーの授業で社会人として必要なマナー教育やライフスタイルの考え方などの授業を行っている。また、就職支援講座では企業の選び方や就職するための面接指導などを含め実施。建築系学科では、就職研修の授業の中でライフデザインの考え方を含め、企業の選び方や就職をするための準備として、企業情報の取得方法、面接指導などを実施している。また、マナー教育を実施し、社会人として必要な挨拶の仕方・話し方などの指導を行っている。

2 実践的職業教育

医療事務学科2年生は職場実習を行っている、現場での最新の実務の知識を身につけることができる。建築系学科では、2年生の夏休みに希望者を対象に、インターンシップを実施している。また、現在実務に就いている講師の授業を取り入れることで、最新の実務の知識と技術を習得できる。

3 就職支援

全クラス担任制を取っており、就職活動において個性を重視し適宜適切なアドバイスを行い、企業とのミスマッチを無くし、適所に就職させるべく指導を行っている。

校内の体制は、「就職課」を設け、企業からの求人受付、求人開拓を行い、「就職指導セミナー」「就職ガイダンス」の開催、「面接のロールプレイング」等を実施している。就職指導セミナーは1年次の2月に札幌新卒応援ハローワークから講師を招き、企業の求める人材像、

現在の社会情勢などの講演をお願いしている。また在校生による就職活動の体験発表を実施している。

2年次4月には就職ガイダンスを実施、求人先企業の人事責任者を招いて、求めている求人の内容や求めるスキルや人材像について講演し、学生の就職に対する意識の啓蒙を行っている。

就職活動にあたっては、就職課、担任、学生本人と三位一体で活動する事が肝要との考えで日常から指導を行っているが、「面接試験」の重要性という観点から、学生個人個人に対して、就職試験前に模擬面接の指導も行っている。

さらに、1年次後期・2年次前期のカリキュラムに「就職支援講座」を取り入れ、自己分析、履歴書の書き方、面接での準備とマナー等、就職活動に役立てるよう配慮している。

本校としては、企業の要望に応えるべく良い人材を育成し適所に就職させるよう新規求人先企業の開拓を行い、万全を尽くす所存で就職指導に取り組んでいる。

医療事務学科では、医療系の求人先は、実習先が就職に結びつく場合が多く、新たな病院実習先の確保に全力をあげている。

【5】様々な教育活動・教育環境

1、学校行事

- ・ 宿泊研修（1年生）
- ・ 交通安全・薬物乱用防止講習会
- ・ 制作発表展
 - 1年間の集大成としての優秀作品展示（札幌駅前通地下歩行空間にて3日間実施）
- ・ バスハイク：ルスツリゾート（親睦交流）
- ・ スポーツレクリエーション（スポーツ大会）
- ・ 青山祭（学校祭）

2、課外活動

（1）自主研修活動

金曜日の3・4講時で実施（年間20～22回）

研修講座

- [前期] 公務員受験、ワープロ検定、表計算検定、バスケ、バレーボール、バドミントン、卓球、ボウリング、建築CAD検定、CAD利用技術者、設計コンペ、福祉住環境コーディネーター、医事コンピューター、医療秘書検定、秘書検定、調剤事務、建築見学、カラーコーディネーター、基礎学力講座、宅地建物取引士、2級建築施工管理技術検定、構造力学講座、2級建築士、自主学習
- [後期] 公務員受験、表計算検定、福祉住環境コーディネーター、ワープロ検定、医療秘書検定、ペーパークラフト作成、秘書検定、カラーコーディネーター、建築CAD検定、インテリアコーディネーター、宅地建物取引士、CADトレース技能審査、医事コンピューター、電子カルテフットサル、バレーボール、バスケ、病院見学、研修旅行、建築見学、設計コンペ、構造力学講座、2級建築施工管理技術検定、自主学習

(2) 海外/国内研修旅行

建築系・医療事務系学生は、海外又は国内の都市を訪れそこに息づく現代及び歴史的建築物と都市空間を体験することにより建築的な教育・感性を養う。学年・学科問わず自由応募による参加としている。

3 教育環境

1) 施設設備の整備・運用状況

(1) 学内ネットワーク

専用サーバーを基に各コンピュータ室や教室間では、ネットワークを活用し情報の共有や処理の分散を可能にしている。インターネット環境は高速回線を使用し効率の良い情報収集ができる。

学生ホールでは、各自のノートパソコンの利用が可能で、スマートフォンのWiFi環境(フリー)も整備されている。

セキュリティに関しては、サーバーの脆弱性への攻撃・個人情報漏えい・フィッシング等、多くの脅威に対する総合セキュリティ対策をし、安全な利用環境を維持管理している。

(2) 建物等

建物の点検については、毎日の巡回によるものの他、半年に一度担当が巡視を行っている。

(3) 衛生設備・電気設備・防火設備・防犯体制

受水層の清掃と水質検査を専門業者に委託しており、毎年合格している。電気設備・EVについては毎月、防火設備も専門業者により年2回点検をおこなっている。

防犯体制として夜間(17時から8時45分)及び日曜日、祭日は警備会社による機械警備をしている。

(4) 図書室の利用状況

開架方式の採用による自由な閲覧としている。

延べ面積	41.5m ²
総蔵書冊数	2,293冊
雑誌数	650冊

【6】学生の生活支援

1 経済的な支援

日本学生支援機構奨学金、札幌市奨学生、交通遺児育英会奨学生、オリエントコーポレーション学費サポート等の案内及び手続きを実施している。また、本校独自の経済支援として入学段階で、「家族優遇」「AO入試優遇」「大・短・専卒業者優遇」などの優遇制度を実施し、学習意欲が有るが経済状態が厳しい学生のための受入れ制度を作っている。

2 奨学金制度・授業料免除の状況

(1) 入学生特待生制度

i) 制度内容

一般入学・推薦入学を問わず、単願入学の希望者より選考し、特待生として1年次の授業料 50 万円・20 万円・10 万円・5 万円を免除する。

ii) 選考方法

一般入学・推薦入学の選考後、希望者本人の面接・高等学校調査書の評定平均と学力試験（数学、国語の2教科で出題）によって選考する。

(2) 在校生特待生制度

i) 制度内容

在校生を対象に、各クラス1名を選考し、2年次進級時に奨学金として5万円を支給する。

ii) 選考方法

1年次の成績と精勤などの出席状況、授業態度など諸条件から、成績が優秀で、条件を満たしている者を選考する。

(3) 欠席の多い学生に対する支援

- ・ 担任教員の個別面談、学生への電話（メール）連絡
- ・ 担任教員の保護者への連絡
- ・ 教務部長の面談
- ・ 校長の面談

【7】学生納付金

入学金（1年次）建築学科・建築設計デザイン科・医療事務学科の3学科は 150,000 円

学費内訳 学科名	授業料	施設維持費	合計
建築学科	720,000	250,000	970,000
建築設計デザイン科	720,000	250,000	970,000
医療事務学科	580,000	230,000	810,000
診療情報管理士専攻科	600,000	230,000	830,000
建築研究科（別科） （2級建築士コース）	360,000	125,000	485,000
建築研究科（別科） （1級建築士コース）	990,000	110,000	1,100,000

※単位は円